

本時のねらい

資料から必要な情報を読み取り、iPad を活用してまとめる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

学習支援ソフト（ロイロノート）にまとめる作業を通して、新聞作成活動につなげる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・AppleTV ・電子黒板 ・学習支援ソフト（ロイロノート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○学習課題をつかむ。 「資料から必要な情報を読み取り、まとめよう」 ○授業の流れを確認し、見直しをもつ。(写真1)	・AppleTV と iPad のミラーリング機能を使い、iPad の画面を電子黒板に提示して確認する。
展開 (25分)	○ロイロノートを活用 ① 記事に合う内容の資料を選び、理由を考える。 「リサイクルに関する写真があるから」 「この写真は記事と関係がない」 「生ごみの写真とこの記事の内容が関係している」 ② 自分が興味を持った資料から、必要な情報を読み取り、まとめる。 ・一人で記事の内容を考える。 ・ペアで話し合ってお互いの記事がより良くなるようにする。(写真2) ・再度一人で考える時間を取り、記事を仕上げていく。	・ロイロノートに予め資料を用意しておき、資料に合う文章を線で結んでいく。 ・ロイロノートで編集することで、タッチペンを使用して色をつけたり、大切な所を線で引っ張ったりする工夫が見られる。 ・文字を鉛筆で書くのではなくタイピングするので、間違えてもすぐに訂正することができる。
まとめ (15分)	○ふりかえり(写真3) ・必要な情報を読み取り、まとめることができたかふりかえる。	・ロイロノートでふりかえりを行い、提出ボックスに提出して、クラス全体で共有する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：見直しを持たせるため、めあてを提示している場面



写真2：記事をペアで考えている場面



写真3：ふりかえりの場面

児童生徒の反応や変容

ロイロノートを使って資料から必要な情報をまとめるということを新聞づくりにつなげていくため、じっくり資料に向き合いながら真剣に取り組んでいた。途中、ペアで交流することで、自分が書いた記事をさらに磨き上げ、子どもによっては、資料に矢印を書いたり、見出しを工夫したりと、創意工夫がたくさん見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

新聞記事を作成するために、ロイロノートを使用した。普段はノートや紙を使って練習をすることが多かったが、ロイロノートを活用する利点は、児童にとっては、割り付けがとてもしやすく、記事の修正もスムーズに行えることである。また、教員にとっても、提出された作品をすぐに添削し返却できるので指導のしやすさを感じた。